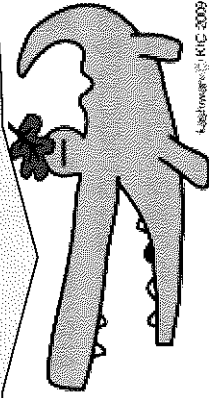


『柏市いじめゼロ宣言』 柏市は法律、条例、柏市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止と早期発見・早期解決に努めます！



「柏市児童虐待及びいじめ防止条例」

第6条 保護者の責務

保護者は、子どもに対し次に掲げる内容を理解させるよう努めるものとする。

- (1) いかなる理由によるかを問わず、いじめを行ってはならないこと。
- (2) いじめには、犯罪とされる行為が含まれること。
- (3) いじめは、いじめを受けた人の心に深い傷を永く残すこと。

『ネットいじめ』から子どもを守るために

「ネット上のいじめ」とは、携帯電話・スマートフォンやパソコンを通じて、インターネット上のウェブサイトの掲示板などに、特定の子どもの悪口や誹謗・中傷を書き込んだり、メールを送ったりするなどの方法により、いじめを行うものです。また最近では、男子生徒から「裸の画像」を要求された女子生徒がそれに応じてしまい、画像が拡散してしまうなどの被害も出ています。無料通話アプリLINEで、不特定多数の人間と安易に係を持つことから、トラブルが増加しています。

無料アプリの中には有害かつ悪質なものも多く存在します。

『子どもに携帯電話やパソコンを使わせる場合』

- 使用時間帯や金額などの家庭でのルールを作りましょう。
 - フィルタリングの設定を行いましょう。
- ※千葉県青少年健全育成条例で保護者と販売者の責務とされています。
- 学校は学習の場であり、携帯電話など学習に不必要な物は持ち込まないことが基本です。

「いじめ」?と感したら...

じっくりと話を聞いてください

「絶対にあなたを守る」という気持ちを伝えてください。

学校に相談してください

担任はもちろん、校長、教頭、養護教諭、スクールカウンセラー等が内容に応じて対応します。

相談できる機関があります

学校に相談しにくい時は、下記の相談機関まで連絡してください。

● 保護者の相談に対応します！

柏市教育委員会 指導課 04-7191-7369
 柏市少年補導センター 04-7164-7571
 千葉県警東葛地区少年センター 04-7162-7867

● 子どもの声に耳を傾けます！

補導センターやまびこ電話相談 04-7166-8181
 千葉県警察少年センター 0120-783-497
 24時間いじめ相談ダイヤル 0570-0-78310

パソコン <https://www.shinsei.elg-front.jp/chiba/uketsuke/dform.do?id=1395206825752>

携帯電話 <https://www.shinsei.elg-front.jp/chiba/uketsuke/iform.do?id=1395206825752>

スマートフォン <https://www.shinsei.elg-front.jp/chiba/uketsuke/sform.do?id=1395206825752>



携帯電話 スマートフォン

平成26年6月1日から、メールによる相談・通報を始めました。左のQ-Rコードからアクセスできます！

いじめられている子のサインをキャッチ！

いじめられている子は、家族に心配をかけたくないという思いから、自分から打ち明けられない場合も多いと思われれます。しかし、何らかのサインを出していることが考えられます。いじめを早期に発見するために、下の項目を参考に手エックしてみてください。

- 日常生活の変化
- 理由のはっきりしない衣服の汚れや破れ、すり傷やあざなどがある。
- 登校時刻になると、身体の不調を訴え登校をしぶるようになった。
- 食欲が急に落ちる、寝つきが悪い、笑顔が減る。
- 意味なく夜更かしし、極端に寝起きが悪くなった。
- 死や非現実的なことに関する本やネットの情報に関心を持つようになった。
- 「どうせ自分だけだ」などの自己否定的な言動を口にするようになった。
- 妙にこにこしたり、気をつかいすぎたりすることが多くなった。

● 持ち物の変化

- 持ち物や勉強道具などがなくなったり、落書きをされたりしている。
- カッターナイフなどの刃物をカバンやポケットに入れている。
- 家庭から品物やお金を持ち出したり、必要以上にこづかいを要求するようになった。

● 友人関係の変化

- 親しかった友達が遊びに来なくなったり、遊びに行く回数が減ったりした。
- スマホやケータイをいつも気にもしていない。着信音におびえる。
- 学校や友達に対する不平や不満を口にする事が多くなった。
- 転校したい、学級をかわりたい、部活動をやめたいなどの話をするようになった。

● 家族との関係の変化

- ささいな事で怒ったり、家族に八つ当たりしたりするようになった。
- 家族との会話が減ったり、意図的に学校や友達の話話を避けたりするようになった。

いじめる側からの発見も必要です！

いじめをしていることは、いじめられていること以上に、外から分かりにくい場合が多いと思われれます。いじめを知られないように反対の行動をとることもあります。いじめはどこにもあるという意識で、子どもの様子の小さな変化を見逃さない注意が必要です。

- 買ってやっていないものを持っている。
- お金のつかい方が荒くなった。(こづかい以上のお金をつかっている)
- 親の言うことを聞かなくなり、反抗的な態度をとるようになった。
- 親が自分の部屋に入るのを極端に嫌がるようになった。

※項目の中には思春期のどの子にも表れるものもあります。大切なことは、子どもの小さな変化を見逃さないことです。

「あれ？」もしかしてと思ったら…

- 子どもにとって良き相談相手になってあげましょう。
 - 気持ちを受け入れてあげることが大切です。
 - 様子がおかしくても、問い詰めたり、結論を急いだりしないでください。
 - 何があっても「守り抜く」「必ず助ける」ことを真剣に伝えましょう。
 - いじめている人が悪く、いじめられている人は悪くないと伝えましょう。
 - 子どもに次のようなことは言わないようにしましょう。
「無視なさい」「大したことではない」「あなたにも悪いところがある」
「いじめられるほうが悪い」「弱いからいじめられる」
- ※ご家族だけで悩まずに、心配なことは学校へ相談しましょう。

「柏市いじめ防止基本方針」

は柏市オフィシャルウェブサイトで閲覧できます。

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/270300/p018528.html>

